

実り味わい 地域に感謝

大和・吉田小

地域住民と協力し、子どもたちが中心となりコメ作りに取り組む大和町吉田小(児童47人)で11月20日、収穫感謝の会があった。全校児童が出席。稲作に携わった4、5年の児童計

15人が整列し、5月の田植えや9月の稲刈り、10月の脱穀の様子などを順番に発表する形で振り返った。作業で指導を仰いだ地域住民らに「ありがとうございました」と声をそろえ、お礼の言葉を述べた。

取れたもち米の一部を使い、児童がきねを振るう餅つきもあった。

同校では、学校近くの実習田7畝でミヤコガネを栽培。地域住民の協力を得て4、5年の児童が田植えや草刈り、稲刈りなどの作業に当たった。

感謝の会は同校PTAの主催で、6年生による神楽の発表やプロの演奏家を招いたコカリナのコンサートも実施した。



自分たちで収穫したもち米をつく児童(中央)